



本邦大学連携

日本センターでは大学間交流促進の一環として、様々な日本留学支援を実施しています。また、日本の大学からのスタディツアー等を受入れて、グローバル人材育成のための海外経験を提供しています。



日本への留学

現地事務所代行	個別留学説明会アレンジ
入試サポート	来日前研修の実施
	留学フェア

各国日本センターは現地の教育省や大学とのネットワークを活かして、大使館、日本学生支援機構 (JASSO) や企業と連携したオールジャパン体制で日本留学フェアを開催しています。

留学フェアの開催 (ウズベキスタン)

2017年11月6日、ウズベキスタンの首都タシケントで、UJCは名古屋大学とウズベキスタン事務所の共催で日本留学フェアを開催しました。日本から10大学の教職員が来訪。各大学の特色や教育プログラムを説明し、設けられたブースで個々の質問や相談に応じました。終日途絶えることなく、751人の来場者があり、ウズベキスタンにおける日本留学への関心の高さが感じられました。



留学フェア参加実績 (2019年度)

各国日本センター	参加人数	参加機関 (大学)
CJCC (カンボジア)	650	●立命館アジア太平洋大学 ●文部科学省日本留学海外拠点連携推進事業 ASEAN 拠点 ●亜細亜大学
VJCC (ベトナム)	140	●関西大学 ●中央大学
LJI (ラオス)	193	●立命館アジア太平洋大学 ●文部科学省日本留学海外拠点連携推進事業 ASEAN 拠点
MOJC (モンゴル)	2,087	●慶応義塾大学 ●東北公益文科大学 ●事業創造大学院大学 ●大阪大学 ●立命館アジア太平洋大学 ●南山大学 ●東海大学 ●松本歯科大学 ●東洋大学 ●熊本介護コンソーシアム ●兵庫県立大学 ●東京国際大学 ●亜細亜大学 ●文部科学省日本留学海外拠点連携推進事業 ASEAN 拠点
UJC (ウズベキスタン)	600	●名古屋大学 ●名古屋経済大学 ●立命館アジア太平洋大学 ●東京農工大学 ●東洋大学 ●筑波大学
KRJC (キルギス)	475	●筑波大学 ●広島大学
KJC (カザフスタン)	290	●筑波大学 ●広島大学
Total	4,435	23 機関 (大学)

支援実施事例

- 立命館アジア太平洋大学、東京国際大学に留学情報の提供、留学説明会の実施 (ウズベキスタン)
- 関西学院大学より、5か月間のインターンを年2回受入れ (ベトナム)
- 名古屋大学の博士課程学生向け研修プログラムを実施 (キルギス / ラオス)

グローバル人材育成

インターンプログラム	スタディツアー	各大学の個別プログラム
------------	---------	-------------

日本の大学と海外の大学とを結びつけ作りとして、大学や学生の団体のスタディツアー、インターンを受入れています。

スタディツアーの受入れ (キルギス)

KRJCでは、2~3週間ほどのインターンシップ、スタディツアー受入れ事業を毎年実施しています。夏期ロシア語研修や文化・自然・経済・国際協力等の様々な観点で理解を深める文化体験プログラム等を実施し、筑波大学、東北大学、関西大学等からの受け入れ実績があります。

参加者の声

夏スタディツアーに参加した筑波大の学生
KRJCでの16日間のスタディツアーでは、特に印象的な出来事が3つあります。①沢山の素敵な方々と出会い、いろんな話を聞いて多くの感銘を受けた。②料理を食べ、街を歩き、自然を感じ、人柄に触れたことで、来なければわからなかったキルギスの文化とその良さを知ることができた。③日本の良さに改めて気づけた。この貴重な経験は、今後の学生生活や将来に大きく役立つと確信しています。



インターンの受入れ (ベトナム)

VJCCでは2017年から、関西学院大学の学生をインターンとして毎年受入れ、これまで9人の学生がVJCCの活動を様々な形で支援してくれました。特に2019年は、VJCC事業の目玉である、「経営塾」創設10周年記念の式典が盛大に行われ、インターン生も事前準備から当日の運営まで様々なサポートをしてくださいました。インターン生は、インターンシップの経験について、「ベトナムという国を知ることで、母国である日本を見つめ直し、自分自身の将来を考える大変良い機会になった」とコメントしています。



課題解決プログラムの実施 (ラオス)

課題解決プログラムは、日本の大学の学生とラオス人学生が共通テーマとして設定される社会課題に関してディスカッションを行い、共同で課題の要因分析、解決方法の検討を行うプログラムです。日本の個々の大学が検討されている方針を踏まえて内容をカスタマイズし、大学ごとのプログラムを実施します。なお、新型コロナウイルスの影響で海外渡航が難しくなっている状況を鑑み、2020年はオンラインに切り替えて実施した大学の例もあります。



連携協定締結大学

- カンボジア ———— ●立命館アジア太平洋大学 ●関西学院大学 ●宇都宮大学
- ベトナム ———— ●立教大学経営学部 ●東洋大学理工学部 ●国際大学 ●関東学院大学
- ラオス ———— ●関西学院大学
- モンゴル ———— ●埼玉大学 ●東北公益文科大学 ●中央学院大学 ●山形大学 ●九州大学
- ウズベキスタン ———— ●名古屋大学 ●立命館アジア太平洋大学 ●東京国際大学 ●和歌山大学
- キルギス ———— ●筑波大学 ●東京女子大学 ●関西学院大学

サービスの詳細・お問合せはこちら



地方自治体連携

日本センターでは、外国人材の受入れ支援や海外展開を目指す地方企業と途上国現地企業との連携支援や、現地のビジネス情報をご紹介するセミナーの開催を通じて、日本の様々な自治体とも連携を進めています。



海外展開支援

ビジネスセミナーの開催



海外展開企業向け ビジネスセミナー

KJC (カザフスタン) × KRJC (キルギス)
× JICA 関西センター (兵庫県)

中央アジア諸国をより身近に感じてもらえるよう、KJCとKRJCがJICA関西センターと協働してオンラインビジネスセミナーを開催し、約200名が参加しました。両国のビジネス環境や特性をふまえたビジネスニーズ、両国へ進出している日本企業、各センターでの日本企業向け支援サービスの紹介を行いました。

ビジネス交流・商談機会の提供



自治体連携の推進

MJC (ミャンマー) × 宮崎県延岡市



2014年1月に延岡市の企業がミャンマーを訪問したことを契機として、同市でのミャンマー企業家の研修受入れやビジネスセミナー、商談会、ホームステイ等を通じて交流が急速に深化しました。2016年にはMJC同窓会(企業経営者)の協力によりマンダレーに延岡の情報発信拠点「ノベオカフェ」が開設されました。2018年には日本企業とミャンマー企業との食品加工機械の委託販売に係る契約が締結され、2019年11月のセミナーには日本の企業他30名、ミャンマーからは商業省副大臣はじめ企業家など500名が参加しました。また、MJC同窓会と延岡商工会議所との経済交流促進に関するMOUが締結され、今後の更なるビジネス連携が期待されます。

外国人材受入れ支援

外国人材活用セミナーの開催



外国人材活用セミナーの開催

MOJC (モンゴル) × 茨城県

茨城県外国人材支援センターが主催するモンゴル人材活用フォーラムにてMOJCの専門家よりモンゴル人材の特性や、外国人材として受入れる際の留意点等を茨城県内企業様にセミナー形式で紹介しました。民間企業との活発な情報・意見交換が行われました。



ジョブフェアの開催



ジョブフェア事例

CJCC (カンボジア)

CJCCではカンボジア日本人商工会(JBAC)の協力を得ながら、年に2度就職フェアを実施し、カンボジアの求職者と企業が出会う機会を提供しています。それぞれの就職フェアの参加企業は25社ほどですが、その半数は日系企業が占めています。また、参加者は毎回500人ほどですが、王立プノンペン大学(RUPP)や工科大学(ITC)などの名門大学から、多くの優秀な学生が参加しています。



東京オリンピック・ パラリンピックでの 交流の展開

日本の自治体と、東京大会に参加する国・地域の住民等がスポーツ、文化、経済など多様な分野で交流することを通じて、地域の活性化等に活かし、東京大会を超えた長期的な交流を実現することを目的とした取り組みとして、ホストタウンがあります。

KRJCは、2020年5月に、政府が進める「オリパラ基本方針推進調査 ホストタウンアドバイザー」に委嘱され、キルギスのパラリンピックホストタウンである山梨市とキルギスとの相互交流のプラットフォームとして、各種支援を展開しています。

- MJC (ミャンマー) × 北海道帯広市
- MOJC (モンゴル) × 茨城県
- MOJC (モンゴル) × 千葉県
- LJI (ラオス) × 神奈川県川崎市
- KRJC (キルギス) × 山梨県山梨市
- MOJC (モンゴル) × 静岡県および富士市
- VJCC (ベトナム) × 静岡県
- MOJC (モンゴル) × 三重県四日市市
- CJCC (カンボジア) × 福岡県北九州市
- MJC (ミャンマー) × 宮崎県延岡市
- VJCC (ベトナム) × 奈良県

地方自治体連携事例

各国日本センターでは日本の様々な地域と途上国との人材交流、ビジネス交流の窓口として様々な支援、ご協力をさせていただいております。各国日本センターへのお問合せ、お待ちしております。

